

1

受身・尊敬・自発・可能の助動詞

る

らる

【活用】

基本形	る	らる
未然形	れ	られ
連用形	れ	られ
終止形	る	らる
連体形	るる	らるる
已然形	るれ	らるれ
命令形	れよ	られよ
活用の 型	下二段型	

【接続】

「る」

…四段・ナ変・ラ変動詞
の未然形

「らる」

…四段・ナ変・ラ変以外
の動詞の未然形

る
らる

【意味】

(1) 受身 へ…レル…ラレル

① 軒近き荻のいみじく風に吹かれて、
砕けまどふが、軒近くの荻が激しく風に吹かれて、
砕け散るのが、② ありがたきもの、舅にほめらるる
婿。
めったにないもの、舅にほめられる
婿。(2) 尊敬 へ…レル…ラレル・
…ナサル・オ…ニナル③ かの大納言、いづれの船にか
乗らるべき。あの大納言は、どの船にお乗りに
なるだろうか。

る
らる

【意味】

(3) 自発 へ(自然ト) ∴レル・

∴セズニハイラレナイ

④住みなれしふるさとかぎりなく
思ひ出でらる。住み慣れたもとの家がこの上なくな
つかしく思い出される。

(4) 可能 へ ∴デキル

⑤家の造りやうは、夏を旨とすべし。
冬はいかなる所にも住まる。家の造り方は、夏を主とするのがよ
い。冬はどのような所にも住むこ
とができる。

⑥恐ろしくて寝もねられず。

恐ろしくて寝ることもできない。

る
らる

【「る」「らる」

意味の判別法の原則】

(1) る・らる＋打消・反語

↓
可能

(2) 敬語動詞＋る・らる

↓
尊敬

(3) る・らる＋給ふ

↓
受身・自発

(4) 知覚・心情を表す動詞
＋る・らる

↓
自発

(5) …に…る・らる

↓
受身